

# さいたま市議団ニュース

日本共産党

No.839  
2019.6.23

発行

日本共産党さいたま市議会議員団  
TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165  
http://www.jcp-saitama.jp/

神田よしゆき	とば めぐみ
とりうみ敏行	金子 あきよ
松村 としお	たけこし 連
久保 みき	

## 若い世代に「核なき世界」を手渡したい

6月議会 一般質問



約を根拠にしていたり、4条では核保有国が核兵器を保有したまま条約批准できるなど、核保有国を条約に署名、批准させる工夫がされている。だからこそ、日本が条約を批准して保有国に「ぜひ参加を」と訴えることが「橋渡し役」ということではないか。若い世代に「核なき世界」を手渡すには条約発効が必須だ。

### すべての学生が学べる奨学金制度へ

**たけこし** 多くの学生が国の学生支援機構の奨学金を利用しているが、市は学生支援機構の奨学金を利用している本市の学生数や平均利用額、経済的理由で中退した学生数、奨学金に絡む自己破産件数などを把握していない。学生の状況を市としてしっかり調査すべき。

**市** どのような調査・アンケート等であれば実態把握が可能か、研究していく。

**たけこし** 実態を把握しないまま奨学金の制

6月10日、6月議会の一般質問で、たけこし連市議が初質問にたちました。はじめに核兵器禁止条約について質問しました。

**たけこし** 平和都市宣言をしているさいたま市、平和首長会議に参加している市長。市長がイニシアティブを発揮して国に条約参加を促す意見書を上げていただきたい。

**市** 国は国際社会における橋渡し役として努力している。本市でも国の動向や国際社会における議論を注視し、核廃絶に向けた機運醸成にとりくむ。

**たけこし** この条約の前文は核不拡散条約や国連憲章など核保有国も同意している条

## ひとり46万円 アメリカ・リッチモンド市へ 議員の海外派遣に反対



反対討論をおこなう  
神田市議

6月議会に、議員の海外派遣の計画が提案されました。日程は8月4日～8日、姉妹都市であるアメリカのバーモント州リッチモンド市を訪問し、提携25周年の友好親善をいっそう深め、交流を促進するとともに、ワシントンDCにある盆栽関連施設と記念式典に出席するというスケジュールです。派遣団の規模は議長をはじめ市議6名、かかる経費は約46万円とのこと。

党市議団を代表して、神田よしゆき市議が、議員の海外派遣についての反対討論をおこないました。党市議団はこれまで、議員の海外派遣は姉妹都市への友好親善を

ることを目的とし、議長などの最小限の参加人数にとどめるべきと主張してきたことに触れ、「今回の議員派遣は、議会を代表して参加する議長をのぞき、最小限の参加人数とは言えない。また、ワシントンDCの関係機関の訪問および視察等は、友好都市訪問とは関係がない」と指摘し反対しました。

しかし、民主改革・自民・公明などの賛成多数により、実施されることになりました。

度設計はできない。ぜひ調査を。

市は低所得世帯に対して支援をおこなうという立場でしたが、たけこし市議は学生団体のデータや高校生アンケートに寄せられた声など用いて「求められているのはすべての学生がお金の心配なく学べる支援だ」と訴え、市の奨学金貸付制度の拡充と給付型奨学金の創設を求めました。

### ガイドラインの収支率見直しを

**たけこし** コミュニティバス等導入ガイドラインが、コミュニティバス実現の障壁となっている。住民がルートを作成する、自治

会の同意を得る、収支率40%の計画を立てるなど、「自分の住んでいるまちで自分の行きたいところに行けるようにしてほしい」という市民要求が、入口でシャットアウトされている。この状況を改善するためにガイドラインを見直すべき。とくに収支率40%の規定はなくすべき。

**市** ガイドラインは適切だと考える。収支率に関しても適切。

たけこし市議は、「高齢者のみなさんには免許の返納を促しているのに、新しい交通手段を実現するハードルは高い。住民福祉の向上と収支率という発想はなじまない」として、ガイドラインの見直しを再度求めました。



### 6月議会 一般質問

# 不登校の子どもと 保護者の声を聞いて

校で269人、中学校では850人の不登校児童・生徒がいます(2017年度)。

とば市議は、埼玉県が12年間続けている「保護者と教師のための不登校セミナー」で親たちから寄せられた声を紹介しながら、子どもを学校に適應させることを目的とし、教室に戻そうと無理解な対応が繰り返されていることを問い、教育機会確保法の付帯決議の観点から、子どもの思いをくみ取り無理な登

6月10日、6月議会の一般質問で、とばめぐみ市議が初質問にたちました。とば市議は選挙中に公約した「子どもがみんな笑える日まで」という立場で保育・不登校・学校建設問題を質問しました。

不登校の児童・生徒数は5年連続で増加し、全国で14万4000人です。本市でも、小学

校刺激をしないこと、学校から子どもを排除しないこと、その子が見つけた居場所を大事にすること、の3点が不登校の子どもにとって大事だと述べました。

そして市に対し、県のように行政・民間・保護者が連携した話し合いを重ねることを求めましたが、市は「学校は適切に対応している」と言い切り、「民間フリースクールと協議会を重ねている」と答弁しましたが、この協議会には保護者の団体は入っていません。当事者の思いを聞こうともしない姿勢が浮き彫りとなりました。

## 公立の認可保育所を増やして

今年度、認可保育所に申し込んでも入れなかった子どもは2589人。市は待機児童を393人と発表しましたが、実態とかけ離れています。とば市議は、市民の切実な声を紹介しながら、あらためて認可保育所の増設、とりわけ公立保育所の建設を求めましたが、市は「公立保育所に比べて短期間で整備でき、特色ある保育を提供できる」と民間での整備を強調し、公立はつくらぬとの姿勢を変えませんでした。

今年10月からはじまる幼児教育・保育の「無償化」は、「認可外保育施設指導監督基準」

すら満たさない認可外保育施設や、企業主導型保育施設も公的給付の対象とします。企業主導型保育施設は、政府が待機児童対策の切り札としたものの、全国で定員割れ、突然の閉園などが問題視されています。

とば市議は「保育所は子どもが1日を過ごす大事な場所。市の指導監督を受けない保育施設は公的給付の対象とすべきではない」と市の姿勢を質しました。

市は企業主導型保育施設についても「本市の待機児童解消のための保育の受け皿の1つ」「無償化の対象とし、指導監督を充実させていく」と答弁しました。

## 小学校建設を急いで

最後にとば市議は、見沼区の過大規模校の問題をとりあげました。大和田駅の危険な踏切を渡る子どもたちの様子や、図書室を普通教室に転用している大谷小学校の実態を紹介し、2023年開校といわれていたのに、区画整理の遅れとPFIの検討で2年も遅れたことについて「危険な教育環境を延長してまでPFIの導入は必要ない。1年でも早く開校を」と迫りましたが、市はコスト削減、公民連携だとして、PFIの導入と2025年開校に固執しました。



## 教科書展示会に 行ってみませんか

来年4月から、新学習指導要領に基づいた小学校の教育内容が実施され、今年は、そのための教科書採択がおこなわれます。教科書の展示はだれでも見ることができ、アンケート用紙に答えることができます。

実際に市民やマスコミの批判が反映された例として、たとえば、教育出版の「道徳」教科書では、君が代の意味を歪める「国旗のいみ、国歌のいみ」「国歌が流れたらみんなで歌います」が削除。また「次のうち、『れいぎ正しいあいさつ』はどれでしょう」も削除されました。安倍首相の写真を載せた「下町ボブスレー」もなくなっています。子どもたちが使うことになる教科書、ぜひ手に取ってご覧ください。

**中央図書館**  
(浦和駅東口 PARCO 8F)  
6/14 (金) ~ 6/28 (金)  
13:30 ~ 20:30  
※土・日は10:30 ~ 17:30、  
6/28 (金) のみ13:30 ~ 17:30

---

**さいたま市立教育研究所**  
(浦和区岸町)  
6/14 (金) ~ 6/27 (木)  
10:00 ~ 17:15

---

**大宮小学校**  
(大宮区大門町)  
6/18 (火) ~ 7/3 (水)  
9:00 ~ 17:00  
※土曜日は12:30まで

### あなたの身近な議員です

市議(北区)	市議(浦和区)	市議(緑区)	市議(桜区)	市議(見沼区)	市議(南区)	市議(中央区)
神田よしゆき	とりうみ敏行	松村としお	久保 みき	とばめぐみ	金子あきよ	たけこし連